

活動 寄付
思い と 思い をつなぎ、
だれもが生き活きと暮らせるまちづくりを支援する

事業指定助成プログラム 「エラベル」

困難に立ち向かう市民の活動 市民活動をえらんで きふ！
2016年12月1日～2017年3月20日



公益財団法人

かながわ生き活き市民基金

Kanagawa Lively Citizens Fund

神奈川初の公益財団による市民基金です。
神奈川県内の地域課題に取り組む市民団体の活動と市民の寄付をつなぎ、
生き活きとした市民社会を目指しています。

公益財団法人 かながわ生き生き市民基金からの メッセージ

子ども・若者の未来づくりに、手を差し伸べよう

「日本の子どもの6人に一人が、十分な食事や医療を受けられない貧困にある」というと、「私の周りにはいない」「昔も貧乏はあった」「途上国のこと？」といわれます。「あるのに見えない子どもの貧困」は、政府・自治体の実態調査を行ってこなかったことでも隠されてきました。現代社会の貧困は、コミュニケーションの貧困・関係性の貧困など心の問題でもあります。地域では子どものおかれた状態に気づいた市民が、居場所を開き、地域（子ども）食堂、学習支援など自治体に先駆けた対応を始めています。

地域の課題に立ち向かう市民活動を孤立させることなく、おおぜいの市民が協力し、支援していきましょう。

2016年度のエラベル登録団体は3団体です。私たちの周辺でおきている課題に対し、あきらめることなく夢を持ち、子ども・若者の未来に手を差し伸べ、支援し合うのは、私たちおとなの役割ではないでしょうか。地域課題に立ち向かう市民活動に、皆さんのご支援をお願いします。

2016年度エラベル登録団体

- 1) 認定特定非営利活動法人 エンパワメントかながわ P4-5
【1万人の子どもにCAPを届けるキャンペーン】
「いじめられていい人は一人もいない」と伝えたい！～暴力から子どもたちを守るために～
「いじめ、虐待、性暴力などあらゆる暴力から、子ども自身が身を守るためのプログラムを実施するためにご支援ください。」
- 2) 特定非営利活動法人 フェアスタートサポート P6-7
【定時制高校でのキャリア教育事業】
定時制高校に通う若者達の自立を目指して
～18歳で自立し社会に巣立った子ども達がいきいきと働き、充実した人生を歩めるように～
「定時制高校の若者達がしっかりと働くイメージを持ち、自分の将来と向き合うためのキャリア教育事業をぜひ応援してください。」
- 3) 特定非営利活動法人 アール・ド・ヴィーヴル P8-9
【アール・ド・ヴィーヴル展（自分らしく生きること）】
障がいのある方の個性が輝くような仕事を生み出し、社会とつなぐ
「多様な生き方を尊重し、障がいのある方たちが自分らしく働ける社会をめざして活動しています。アール・ド・ヴィーヴルの展覧会開催をご支援ください。」

2015年度登録・助成団体からのメッセージ

企業組合ワーコレ・キャリア 理事長 伊佐憲明さん



働く意欲がありながらその機会に恵まれない若者の力を活かして、高齢化に伴う家の引き払いや部屋の片付けのニーズに対処して行きたいと「はっぴい&キャリアくらしのサポート事業」を立ち上げ、立ち上げ準備資金として「エラベル」の寄付募集活動に応募しました。

寄付活動の経験がない私たちが頼りにしたのは、日頃から共に働き、活動をしている仲間たちでした。メンバーみんなで担し、まず生活クラブ生協のセンターやワークスなど運動グループの仲間の所へ通り、趣旨を説明し寄付をお願いすることから始めました。

そして目標金額を遥かに超える多額の寄付を集めることが出来ました。皆様の熱い想いや人々との繋がりや強さを実感しました。改めて、寄付へのご協力に感謝申し上げます。

皆様からの心のこもった寄付金は、就労経験の少ない若者への研修をはじめ、チラシやホームページの作成、作業に必要な備品の購入や回収品を分別するための港北倉庫の改修、はっぴい&キャリアのロゴマーク入りのユニフォームの作製など、事業の開始にあたって必要な様々な費用に充てさせていただくことができました。これからも皆様から寄せられた声援を糧にして「はっぴい&キャリアくらしのサポート事業」の発展に尽力し、地域を支える助け合いの仕組みづくりに貢献していく所存です。



若者研修
(港北おもしろそう庫)



引き払い現場

〈2015年度のエラベル活動〉・・・皆さんからの合計3,313,554円のご寄付が、私たちの活動を支えました。心から御礼申し上げます。

団体名	申請事業活動	助成額 円 (目標金額)	実現したこと
認定特定非営利活動法人 エンパワメントかながわ	1万人の子どもにCAPを届けるキャンペーン	638,095 (1,200,000)	64回分の講座開催のスタッフ交通費を賄えた。2017年3月までに4,000人の子どもがCAPを体験する予定。
一般社団法人ソーシャル コーディネートかながわ	若者とともに地域や社会の課題を見つけ、解決の方法と一緒に考える〈学びあいの場〉づくり	205,700 (200,000)	2回の講座を開催し30名以上の若者を招待できた。
特定非営利活動法人 フェアスタートサポート	貧困等の家庭の事情で18歳で就職自立を目指す若者への就労支援事業	459,850 (300,000)	6月：県内養護施設で出張面談実施。 8月：企業と高校生の交流会実施。 交流会は17年1月にも予定。企業見学12名実施2名内定。職業体験ツアー実施。
特定非営利活動法人 ミニシティ・プラス	こどものまちづくり応援事業	279,309 (400,000)	子どもたちと商店街による地域型まちづくりチームを3チーム形成できた。
企業組合 ワーコレ・キャリア	くらしのサポート事業 はっぴい&キャリア 働きづらさ・生きづらさを持つ人や若者応援・協働事業	1,730,600 (1,000,000)	6人の若者の引き払い研修参加、ホームページ作成、新規事務所備品調達、車両維持費を賄えた。予算以上の寄付により、ゆとりを持って事業が可能となった。
合計		3,313,554	

一万人の子どもにCAPを届けるキャンペーン

認定特定非営利活動法人 エンパワメントかながわ

事業目的

暴力のない社会の実現をめざし、人権啓発活動を行っている。一人ひとりの人が、自分自身を大切な存在と気づき、人と人がお互いの力を引き出しあい、つながっていくことで、あらゆる暴力を無くしていくことをめざしている。

活動歴

2004年3月に任意団体として設立
2004年9月 特定非営利活動法人となる
2013年3月26日 神奈川県指定特定非営利活動法人となる。
2014年2月10日 認定特定非営利活動法人となる

2015年度年間290回のCAPプログラムを開催
デートDV予防プログラム110回開催
電話相談
人権啓発に関する講座開催80回
デートDV予防プログラム実施者養成講座・研修の開催

団体情報

住所 横浜市神奈川区鶴屋町2-9-22
日興パレス横浜 701号
電話 045-323-1818
メルアド
kanagawa-cap-miracle@isis.ocn.ne.jp
HP <http://npo-ek.org/>



「いじめられていい人は一人もいない」と伝えたい！～暴力から子どもたちを守るために～

いじめ、虐待、性暴力などあらゆる暴力から、子ども自身が身を守るためのプログラムを実施するためにご支援ください。



事務局長 池畑博美さん

チャレンジすることについての思い

私たちは、神奈川県内を中心に20万人以上の子どもたちに、(CAP子どもへの暴力防止)プログラムを実施してきました。

プログラムを受けた子どもたちは「いじめられたときに相談していいと知った」「怖いことがあった時にどうしたらいいかわかって安心した」「自分を大切にしたいと思った」と感想を伝えてくれます。

私たちは、CAPによって、子どもへの暴力の問題を減少させることができると信じています。

CAPプログラムを寄付で届ける仕組みを作る

CAPとはChild Assault Prevention(子どもへの暴力防止)の頭文字をとったもので、あらゆる暴力から子ども自身が自分を守るために何ができるかを子どもや教職員、保護者、地域のおとなに伝える人権教育プログラムです。1995年からこれまでに全国で500万人以上が受講。しかし教育予算の削減から、実施校がだんだん減っています。予算不足で子どもたちを不利にしない仕組みが必要です。

学校負担なしにCAPを子どもたちに…



「1万人の子どもたちにCAPを届けるキャンペーン」は学校の費用負担をなくし、市民の寄付とボランティアによって未来を担う子どもたちにCAPを届ける新しい仕組みです。1度の開催費用2万円のうち、1万円のご寄付とボランティアによって、実現させます。キャンペーンは2014年からスタートし、2016年3月までに32校2415人の子どもたちがCAPプログラムを体験しました。2017年の取り組みをぜひご支援ください。



1万人の子どもにCAPを届けるキャンペーン実施校

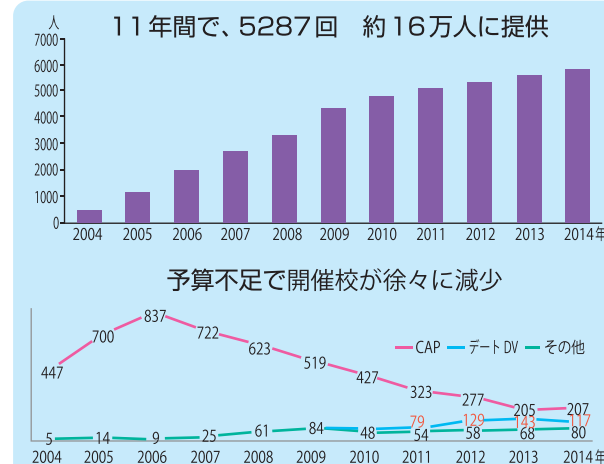
2014年度 横浜市立戸部小学校・すみれが丘小学校、伊勢原市立石田小学校、川崎市立富士見小学校、厚木市立北小学校、葉山町立一色小学校

2015年度 横浜市立藤塚小学校・東品濃小学校・西寺尾小学校・さちが丘小学校・大口台小学校・八尋小学校・平戸台小学校・戸部小学校・霧が丘小学校・永田台小学校・市沢小学校・東汲小学校・万騎が原小学校・旭小学校・六ッ川小学校・芹が谷小学校・美しが丘小学校、川崎市立下平間小学校、東住吉小学校、茅ヶ崎市立小出小学校、山北町立三保小学校、小田原市立下中小学校三浦市立初声小学校、平塚市立真土小学校

2016年度(実施予定を含む) 横浜市立藤塚小学校・八景小学校・西寺尾小学校・さちが丘小学校・万騎が原小学校・日野南小学校・東品濃小学校・大口台小学校・東俣野小学校・西寺尾第二小学校・港南台第三小学校・六ッ川小学校・芹が谷小学校・あざみ野第二小学校・東住吉小学校・杉田小学校・市沢小学校・霧が丘小学校・新鶴見小学校、山北町立三保小学校、伊勢原市立石田小学校、平塚市立真土小学校、葉山町立一色小学校、秦野市立上小学校、三浦市立初声小学校

1万人の子どもにCAPを届けるキャンペーンは

予算不足で、CAP実施校が減少する中、皆様のご寄付と私たちのボランティアでプログラムを提供する仕組みです。2014年9月から今までに、2,012,095円の寄付があり、2015年度末までに2,415人の子どもたちにCAPを届けました。2016年度中に4,000人を超える見込みです。



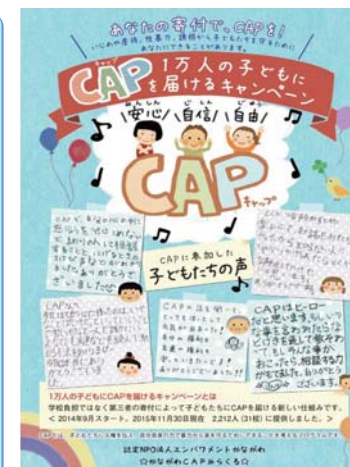
新たな10年に向けてボランティアと寄付で開催校を増やしたい

CAP経費20,000円の内訳を変える



10,000円の寄付とボランティア

人件費、交通費、事務経費、ボランティア



寄付者様には、CAPを受けた子どもたちの直筆感想とスタッフからのメッセージをお届けします。

スタッフにあえるイベントやCAPをあなたも体験しませんか？

CAPをはじめとした暴力防止プログラムを体験しませんか？
私たちの公開講座に、ぜひお越しください。

- 2016年12月4日(日)14:00～17:00 かながわ県民センター 304会議室
小学生向けCAPプログラム・1万人の子どもにCAPを届けるキャンペーン報告・ドネーションパーティー
- 2017年1月20日(金)18:30～20:30 ミューザ川崎 研修室1
中学生向けCAPプログラム
- 2017年1月27日(金)18:30～20:30 かながわ県民センター 11階コラボスタジオ
EKセミナー(活動報告会)はっぴいふあみりいプログラム
家族一人ひとりが安心でいられるために、今、できること
- 2017年2月19日(日)10:00～12:00 川崎市ふれあい館
いのちキャンペーン 中学生向けCAPプログラム・交流会
- 2017年2月24日(金)18:30～20:00 かながわ県民センター(予定)
キフカッション 寄付者様と団体メンバーで、寄付について語る会
- 2017年3月12日(日)午前を予定 かながわ県民センター 市民活動フェア
子育てがラクになるワークショップ
- 2017年3月24日(金)18:30～20:30 かながわ県民センター 11階コラボスタジオ
EKセミナー(活動報告会)2016年度活動のまとめ

団体Facebookから、イベント情報を発信しています。



昨年度のドネーションパーティーの写真

事業指定助成プログラム 「エラベル」120万円

3,000人の子どもと1,000人のおとなにCAPを届けるために、寄付による支援をお願いします。

- ★CAPスペシャリスト延べ360人分の交通費 90万円
- ★配布資料400人分 8万円
- ★送料430か所 8万円
- ★広報費 6万円
- ★事務局人件費 8万円

【寄付方法】エンパワメントかながわ専用口座

- 郵便振替 00250-9-52723
- 銀行振込 中央労働金庫 新横浜支店 普通預金 118461
- 口座名義人 ザイ)カナガワイキキシミンキキン 045-620-9044
- クレジット 財団ホームページからカードによるクレジット決済が可能です。
●使用可能カード VISA、Master



定時制高校での キャリア教育授業

フェアスタート

特定非営利活動法人 フェアスタートサポート

事業目的

貧困や虐待等、家庭の事情により18歳での就職自立を目指す若者が就業に関して公平な機会を得られる社会を創る。

活動歴

2010年8月 任意団体として活動始める
2013年1月 NPO法人となる
2015年7月 定款を変更し、支援対象を拡大する
2016年6月 WEBサイト「18スタート」をオープンさせる

第4期(2015年8月～2016年7月)事業実績
①児童養護施設等の子どもたち・若者たちへのキャリア教育事業
パソコン教室、料理教室、プログラミング教室等
就職相談58人、会社見学61人、就労体験11人
定時制高校でのキャリア教育事業 神奈川で2校
約90人
②児童養護施設等退所者へのアフターフォロー事業
新年会や卒業パーティ等を開催
若者や会員など約50人が参加
支援実績施設数 神奈川22施設、東京38施設
ほか

団体情報

住所 横浜市中区北北仲通3-33
関内フューチャーセンター214
電話 045-319-4675
メルアド info@fair-start.org
HP http://fair-start.co.jp

定時制高校に通う若者達の自立を目指して 18歳で自立し社会に巣立った子ども達がいきいきと働き、充実した人生を歩めるように…。

定時制高校の若者達がしっかりと働くイメージを持ち、自分の将来と向き合うためのキャリア教育事業をぜひ応援してください。



代表理事 永岡鉄平さん

私たちはこれまで児童養護施設の若者達を中心に就労支援を行ってきました。しかし、その中で同じような境遇にありながらも支援が行き届かない若者達がいることに気づき、その多くが定時制高校や通信制高校に通っていることを知りました。貧困などの様々な家庭の問題を抱えているものの、彼らが受けられる支援は少なく、卒業時の支援金も一切ありません。

定時制高校の卒業生の約4割は非正規雇用、または無職のまま学校を卒業していると言われています。高校卒業と同時に自立を目指し、就職をする若者達が多い中で、在学中の就職支援が十分ではない現状があります。アルバイト経験は豊富でも、正社員としての仕事や社会についてリアルに学べる場は少なく、いざ卒業したときにそのギャップに躓き、ずっとアルバイトのままだったり、早期離職をしてしまったりするケースが多くあります。

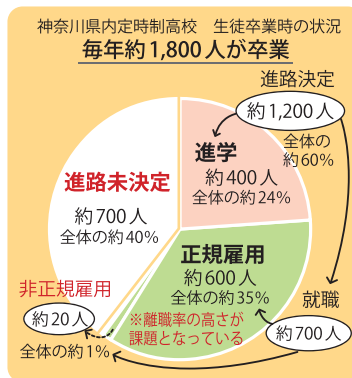
私たちは、彼らが社会にどんな仕事があるのかをまず知り、その中から自分の適性にあった仕事を見つけ、充実した人生を歩めるよう支援をしたいと思っています。(県内の定時制高校は27校、平均1,800人が卒業する)

定時制高校の卒業生の現状

就職や進学、その進路は様々ですが、中には非正規雇用、または特に進路を決めないまま学校を巣立っていく若者達も多く、その数は全体の4割、約700人にのぼります。

定時制高校に通う若者には、母子家庭、生活保護家庭、外国にルーツを持つ生徒も多く、貧困率が非常に高い現実があります。高校卒業後、自立を目指し就職をしなければならない境遇の若者達が多いにもかかわらず、相当数の進路未決定者がうまれている背景には、まともに働く大人の姿を見る機会に恵まれてこなかったことなどからくる「正社員として働くことのやりがいやメリットをイメージできないこと」「社会に存在する仕事の職種に対する知識の脆弱さ、視野の狭さ」などがあると推測しています。

彼・彼女らが正社員として働くことに前向きなイメージを持ち、メリットを感じ、世の中の様々な会社・職業を知り、意欲的な正社員就活に取り組んでもらえるように私たちは1校でも多くの高校でキャリア教育に関する授業を開催したいと思っています。



県内2校の定時制高校で授業を実施！

神奈川工業高校定時制と湘南高校定時制の2校にて授業を開催。協力企業から社長や人事担当、若手社員の方をゲストに迎え、クイズ形式で各会社について生徒たちに学んでもらいました。社長へのプライベートな質問も飛び出し笑いもありつつ、同じく10代から働きだした社長からは、生徒たちへ熱い激励が送られました。

神奈川工業高校定時制の授業では、会社に関する2択クイズを出題し、生徒たちがうちわを使って回答。社名の由来、事業内容、社長の座右の銘など、参加型の授業で盛り上がります。グループに分かれて得点を競い、優勝したチームには協力企業からのノベルティをプレゼントしました。

経営者ふたりからは、「まずきちんと挨拶をすること」「夢をもつこと」など働くことに関して熱いアドバイスが送られました。「高校生に話すのは難しい！伝え足りない！」と経営者側にとっても刺激的な時間となったようです。



若者達に伝えたいこと

- 社会には様々な仕事があることを知れば、視野を広く持って就活に臨める
- 自分の適性に合った仕事に就くことの大切さ
- “アルバイト”と“正社員”で働くことの違い
- 働くとは何か、人生とは何か
- 正社員で働くことで得られるメリットややりがいなど

定時制高校出身の先輩から

田山君(24)
建築関係会社にて施工管理として勤務



高校卒業後、運送会社に就職するものの1年半で退職。その後アルバイトで生活をしている中でフェアスタートと出会い、施工管理の仕事を紹介。2015年12月には初めて自身が担当したモデルハウスが完成し、順調にキャリアを積んでいます。

開催予定のイベント情報

2016年12月 クリスマスパーティ
2017年2月 就労支援をした若者が自身の人生を語るシンポジウム

イベントの情報や日々の活動の様子はFacebookにて随時配信中！



ホームページ



Facebook 団体ページ

事業指定助成プログラム 「エラベル」 目標金額 30万円

県内の定時制高校の生徒たちへのキャリア授業 費用
★人件費 40万円
(事前打ち合わせ、企画、当日のコーディネーター等)
★交通費 10万円
★広報費 3万円
計53万円のうち30万円分を皆さんからの寄付で集めたいと思っています。

【寄付方法】 フェアスタートサポート専用口座

- 郵便振替 00240-1-83238
- 銀行振込 中央労働金庫 新横浜支店 普通預金 109551
- 口座名義人 ザイ) カナガワイキキシンキキ 045-620-9044
- クレジット 財団ホームページからカードによるクレジット決済が可能です。
●使用可能カード VISA、Master

アール・ド・ヴィーヴル展 (自分らしく生きること)

NPO 法人 art de vivre アール・ド・ヴィーヴル

事業目的

障がいのある方たちの創作活動と社会をつなぐための発信の場をつくる

活動歴

- 2013年8月 NPO 法人設立
- ・障がいのある人たちを対象としたアートワークショップをはじめ、ヨガ、英会話、陶芸・料理・フラダンスなど多岐にわたる表現活動を継続的に提供。
- 2016年4月 障害福祉サービス事業所(就労B型)を開所。
- ・障害者アート展覧会およびシンポジウム、映画上映会など多数主催
- ・障がい者向けに美術鑑賞や宿泊体験などを実施、地域の方にもその意義や豊かさを共感いただく。
- ・現在は、様々な障がいのある19～40歳代の利用者さんが、創作活動や農園作業、作品リース事業や、作品をモチーフとしたグッズ製作販売、つながるカード(デザイン名刺)などの多岐にわたる仕事を行っている。
- ・小田原市内にあるアトリエは、白を基調とした室内に作品が飾られ、南の大きな窓から日差しが差し込む明るい雰囲気の中、それぞれが自由に創作活動が出来る場として活用されている。利用者さんからは、とても居心地のいい環境で、創作活動に集中できると嬉しいコメントをいただいている。
- ・創作活動のほかにもヨガ、英語、料理、美術館めぐりなど、利用者の方が心豊かになるような取り組みも含め、自己肯定感を味わえるような場になることを願っている。

団体情報

住所 250-0055 小田原市久野 906
アネシスヒルズ 102
電話 0465-25-4534
メルアド info@artdevivre-odawara.jp
HP http://artdevivre-odawara.jp/

障がいのある方の個性が輝くような仕事を生み出し、社会とつなぐ

多様な生き方を尊重し、障がいのある方たちが自分らしく働ける社会をめざして活動しています。アール・ド・ヴィーヴルの展覧会開催をご支援ください。



理事長 萩原美由紀さん

1. 障がい者アート展覧会

2012年より障害のある子どもたちのためのアートワークショップを定期開催。毎回アート・ディレクター中津川浩章氏にご協力をいただき、創作活動の楽しさと表現することの大切さを学ぶ。それらの作品を多くの方にご覧いただけるよう展覧会を定期的に開催しています。アールのメンバーにとって創作活動は喜びであり自己発信する機会であり、周囲の方に知っていただく良い機会でもあります。

2. アール・ド・ヴィーヴルにとっての展覧会開催の意義

展覧会は、アールの活動の存在と意義を伝え、障がいのある人の作品の魅力を直接伝える場です。メンバーが制作した作品を「仕事」として成立させるためには、作品の魅力を知っていただくことが不可欠です。また、アールのメンバーにとっては、擁護されるだけの存在ではなく、一人の人として存在を認められ、必要とされることを実感する場でもあります。障がいのある人の活動を社会と結び、大切な機会が展覧会なのです。

3. 展覧会実現への課題

制作活動の充実: 画材の整備と作者たちが学ぶ環境づくり(芸術作品に直接触れる機会)を行いたい
充分な広報活動: 多くの方に見ていただけるような広報活動を行いたい

4. これからのアール・ド・ヴィーヴルの展覧会は

インクルーシブな社会の実現に向け、本質的な働きかけを行う場として展覧会を活用していきます。まずは、より多くの方に作品の鑑賞体験をしていただきたいと願っています。子どもたちや学生には、障がいのある人を身近に感じるチャンスに。学校の先生方には、障がい児者の可能性を実感していただく機会に。アールの作品とのコラボを検討される企業の方、行政の方にも。また、啓発普及活動として、全国で魅力的な活動をしている方をゲストに招き、観客と共に障がい児者の社会参加についてともに考え、語り合う場を作ります。



モチーフから生まれたステーションリー

*この冊子の表紙も、アール・ド・ヴィーヴルの蘆田珠希さんの作品です。



アールを体験しよう…

ホームページでご確認ください。

- 12月16日～18日 アール・ド・ヴィーヴル美術展 in ヒルトン小田原
1～2月 アールワークショップ、アールを訪ねる見学会(日程未定)
2月 アール・ド・ヴィーヴル展(日程未定)
3月 アールを訪ねる見学会(ドネーション・パーティー)(日程未定)

アート・ディレクターとして協力しています。

障がいがある人にとって表現活動・アートはどんな意味があるのでしょうか。

うまい下手や写実性といった

表面的な価値観だけでアートは成り立ってはいません。うまさやきれいさとは関係なく、画面全体から受けるエネルギー、オリジナリティや非凡な集中力、大胆な構図や生き生きとした色彩や繊細な線。ときに逡巡し、迷い、戸惑うことのリアリティ…絵に大切な要素は他にもたくさんあるのです。

ひとは障がいがあってもなくても、ひとり一人みな違う存在です。作品にはその人がストレートに現れます。独特な価値観や感覚、言葉では言い表すことのできない大切なもの、隠すことのできない率直なおもい、表現することによって初めて見えてくる切実な「何か」。その人の奥底に息づいている個人的感覚が作品となって外に出ることで、自身の内側に大きな変化が起こるかもしれません。人は作品を通して自分を知り、他者とそして社会とつながることができるのです。

1958年静岡県生まれ。美術家として国内外で、個展やグループ展多数。ブルーバイオレットの線描を主体とした大画面のドローイング・ペインティングと呼ばれるアクリル画を制作発表。代表作「クラトファニー(力の顕現)」 「新世紀」 「考古学」 など。必要最低限の技法で人間にとっての「描くこと」、「見ること」とは何かを問い続けている。



美術家
中津川 浩章さん

【寄付方法】アール・ド・ヴィーヴル 専用口座

- 郵便振替** 00220-6-102971
- 銀行振込** 中央労働金庫 新横浜支店 普通預金 109570
- 口座名義人** ザイ) カナガワイキキシミンキキン 045-620-9044
- クレジット** 財団ホームページからカードによるクレジット決済が可能です。
●使用可能カード VISA、Master

事業指定助成プログラム 「エラベル」 目標金額 70万円

アート力を磨き、自立し、社会とつながる一歩へ!
展覧会、広報費、作家たちへの研修費をご支援ください
★展覧会開催のためのキュレーター費用、広報費、什器レンタル費用、会場費など 20万円
★情報を広く伝えるためのホームページリニューアル等 広報費 20万円
★作家たちへの研修費用(清里フィールドバレエ・美術館鑑賞のための旅費交通費、障害のある人の鑑賞プログラムコーディネート謝礼等 30万円

寄付のお願いと税制優遇のお知らせ

エラベル登録団体へご寄付をお願いします。

エラベル期間中(2016年12月1日～2017年3月20日)のエラベル登録団体3団体への寄付は、すべて公益財団法人かながわ生き生き市民基金が管理し、期間終了後に各団体への寄付金から運営費15%を除いた85%が助成されます。

郵便・銀行口座にお振り込みと現金の場合

- (1) 寄付申込書をお送りください。aまたはbの方法があります。
 - a. 送金に合わせて11ページの寄付申込書を切り取り、ファクスあるいは郵送で財団へお送りください。
 - b. あるいは、**かながわいきいき**で検索し、財団ホームページのエラベル寄付 申し込みフォームで送信してください。
- (2) 寄付金はそれぞれの団体専用口座(団体紹介ページに記載。口座名義人は「公益財団法人かながわ生き生き市民基金」)にお振込みください。
- (3) 団体に直接現金で寄付をされる場合、後程税制優遇に使える公益財団の領収書をお送りしますので、寄付金に添えて、寄付申込書を団体にお渡しください。当日は団体より仮領収書をお渡しします。

クレジット決済の場合

財団のホームページのカード決済画面からクレジット決済が可能です。申込書への記入の必要はありません。スマホからQRコードでホームページにリンクできます。



寄付で税額控除を受けましょう

公益財団法人への寄付金は、確定申告により税制上の優遇措置が受けられます。

個人寄付の場合

- ⇒控除対象になる税金は、「所得税」(寄付金の40%が控除される「税額控除」が有利)と「県民税(4%控除)および市町村民税(6%控除)」です。※ただし川崎市、横須賀市、伊勢原市、座間市は財団の市町村民税優遇の該当外です。
- ☆控除対象寄付は、当財団への寄付(エラベル寄付や福祉たすけあい基金寄付)、社会福祉法人、認定NPO法人への寄付などを合算した金額から2,000円をひいた金額(寄付金合計-2,000円)です。
- ☆例えば横浜市に住んでいる人が、合計1万円を寄付した場合の税金の控除金額は(10,000円-2,000円)×50%=4,000円になります。
- ☆確定申告には、①「かながわ生き生き市民基金発行の領収書」と②「税額控除に係る証明所の写し(当財団ホームページからダウンロード)」が必要です。
- ☆2016年度の確定申告は2016年1月～12月の寄付が対象となります。2017年1月～12月の寄付は翌年の確定申告です。
- ☆クレジット決済の引き落としは、手続きされた月の月末締め・翌月15日引き落としになります。そのため、12月に寄付手続きをされた場合でも、翌年の確定申告での税制優遇適用となります。

法人寄付の場合

- 「一般損金算入」とは別に「特別損金算入」も適用されます。
- ※寄付控除・損金算入は条件がありますので、詳しくは当財団ホームページをご覧ください。か、お住まいの自治体、税務署にお問い合わせください。



〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-2-15パレアナビル6F

Tel: 045-620-9044 Fax: 045-620-9045

Mail: info@lively-citizens-fund.org

URL: <http://www.lively-citizens-fund.org/>

Facebook: <https://www.facebook.com/livelycitizens-fund>

かながわ市民基金

検索

2016年11月